レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年11月21日	使用開始日			
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	森本美希	化学療法委員会承認年月	平成　30 年　月

レジメン名	トラスツズマブ【3回目以降】＋ mFOLFOX6 （胃がん）		
疾患名	胃がん	適応の備考	CVポート
適応分類	進行再発		対象：HER2陽性胃がんのみ
1コース日数	42 日間	総コース数	有効な限り　コース　催吐性リスク　中等度 トラスツズマブ単剤の時は最小度
抗がん剤投与量・投与日	トラスツズマブ6mg/kg day1.22、オキサリプラチン85mg/㎡day1.15.29、５－FU400mg/㎡day1.15.29、５－FU2400mg/㎡day1.15.29(46時間持続)		

治療スケジュール ・ 投 与 日 程 (投 与 日 は ●)　　(day)

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬　剤　名	投　与　量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	～42
1	主ルート	生食250mL	1 本 / body	30 分	●																					●											
	中心静脈注射	トラスツズマブ	6 mg / kg		●																					●											
		注射用水20mL	1 本 / body		●																					●											
	投与時間(初回投与)90分、(2回目以降)30分可																																				
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																					●											
	中心静脈注射		/																																		
			/																																		
			/																																		
3	主ルート	生食20mL	1 本 / body																●													●					
	中心静脈注射																																				
4	主ルート	ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ1mg/50mL	1 本 / body	30 分	●														●													●					
	中心静脈注射	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液6.6mg/2ml	1 本 / body		●														●													●					
		ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	2 本 / body		●														●													●					
			/																																		
5	主ルート	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●														●													●					
	中心静脈注射	オキサリプラチン	85 mg / ㎡		●														●													●					
			/																																		
	Rp5とRp6を同時に投与開始する。																																				
6	側管	5%ブドウ糖液250mL	1 本 / body	2 時間	●														●													●					
	中心静脈注射	レボホリナート	200 mg / ㎡		●														●													●					
	Rp5とRp6を同時に投与開始する。																																				
7	側管	生食50mL	1 本 / body	5 分	●														●													●					
	中心静脈注射	5-FU	400 mg / ㎡		●														●													●					
8	主ルート	生食100mL	1 本 / body	46 時間	●														●													●					
	中心静脈注射	5-FU	2400 mg / ㎡		●														●													●					
		ｲﾝﾌｭｰｻﾞｰﾎﾟﾝﾌﾟ使用																																			
	希釈後の液量を総量100mLとなるよう調製する																																				
9			/																																		
	経口投与	デカドロン錠	8 mg / body			●	●	●												●	●	●												●	●	●		
			/																																		
	分2　朝昼食後																																				

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

このレジメンは、トラスツズマブ3回目以降投与患者に使用する

トラスツズマブの投与量は、初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg

トラスツズマブ：初回投与時間は90分。初回投与時の忍容性が良好であれば、2回目以降は30分まで短縮できる。

トラスツズマブ：次回以降予定投与が遅れた場合、前回投与日から1週間以内の時は、6mg/kgを投与する。1週間を超えた時は、改めて8mg/kgを投与し、次回以降は6mg/kgを3週間間隔で投与。

トラスツズマブの投与間隔は3週毎、mFOLFOX6の投与間隔は2週毎に投与。

Rp5とRp6を同時に投与開始する。

day4.18.32のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる

day1.15.29のデキサート注は、6.6mgでもよい

デキサメタゾンを積極的に使用できない場合は、デキサメタゾンday2～4、16～18、30～32の代わりに5HT3拮抗薬day2～4、16～18、30～32を追加する

オキサリプラチン：希釈は5%ブドウ糖液のみ。

穿刺時に逆血を確認し、ポートの通過を確認すること

Rp8)　５－FU注は、インフューザーポンプを使用して投与する。